



雲月山の山焼き

「深入山や秋吉台の山焼きにも行ってみたけど、雲月山の山焼きが一番良かった」「やっぱり自分が参加したという思いがある山焼きと単なる観光の山焼きとでは充実感が違うのよね」こんな言葉が聞かれました。午前中は尾根筋に防火帯となる幅5mほどの草刈りです。2時間ほどで終わりました。

昼食の後、まず一番高い尾根筋から点火されます。我々一般の参加者は防火帯の端に立って火がよそへ燃え移るのを監視します。10mばかり燃え広がったところで今度は下から火をつけます。谷筋を登る炎はバリバリと音を立てて燃え上がり、上昇気流となって何千もの黒い蝶を天高く舞い上げます。上からの炎と下からの炎が合流したところで火の祭典は最高潮となりやがてあっけなく終わってしまいました。

黒い大地がやがて芽吹き、五月になれば

新緑の草に覆われることでしょう。五月の新入会員歓迎山行は雲月山で行われます。新緑の大地の輝きをみんなで確かめに行きましょう。

（記 若木 一之）

参加者：熊野、中島(康)、永谷、秋信
三重(成)、熊谷(修)、若木
宮木(一)ファミリー(3名)

